

鶴岡市立鼠ヶ関小学校

施設概要

事業主体：鶴岡市

施設名称：鶴岡市立鼠ヶ関小学校

所在地：鶴岡市鼠ヶ関字横路 497 番地 2

用途：小学校



《外観写真》

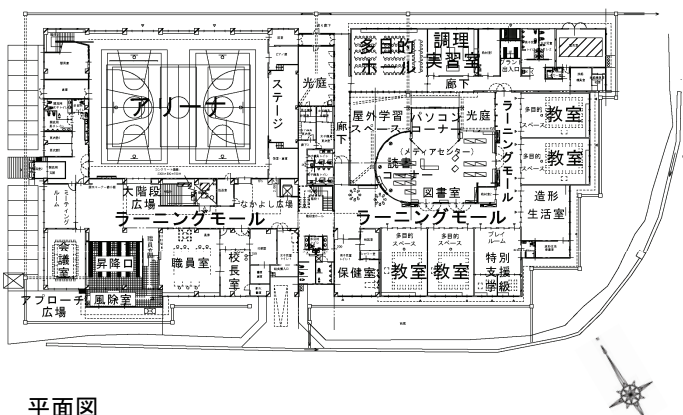
●施設の特徴、内容

「つるおかの森再生構想」で位置づけられた「公共建築物へ地域産木材を積極的に導入」「木材の分離発注の推進」のモデル事業として実施、内装にも地場産の杉材を多く使用することで温かみのある校舎とした。

●配置計画について

屋内運動場も含め全体を一棟とし、コンパクトな平面計画がなされ、学校をひとつの「まち」として捉え「いえ」である各教室をラーニングモールと呼ぶゆとりのある廊下でつなくことにより、交流を誘発する計画とした。

主要な部屋はラーニングモールに面しており、普通教室 6 学級に加え、特別支援学級、造形生活室、多目的ルーム、学習センター（図書室、コンピューター室）を備えている。



平面図

■建物情報

階数：地上 2 階

構造：鉄筋コンクリート造一部木造
(在来+大断面ラーメン)

敷地面積：16,471 m²

延床面積：4,939 m²

各階床面積：校舎 3,711 m²

体育館 1,227 m²

最高軒高：13.86 m

最高高さ：14.39 m

耐火・準耐火：準耐火建築物

■主要仕上

外部仕上

(屋根)：カラーステンレス鋼板立はげ葺き t 0.4 mm (防水工法)

(外壁)：杉化粧羽目板張り

土壁風塗材仕上げ

コンクリート打ち放し仕上げ

内部仕上

(床)：鋼製床下地複合フローリング張り t 15 mm

(壁)：杉化粧羽目板張り、仕上げ合板貼り

(腰壁)：化粧杉羽目板 t 15 mm 張り

(天井)：化粧石膏ボード、杉化粧ルーバー



《ラーニングモール》大階段広場と一体的な空間とし、各教室をつなぐ交流の拠点となる

《使用木材》



杉 等 776.84 m²
 【鶴岡市産木材 688.37 m²】

●木材使用に関する工夫点

延べ床面積の3分の1を『在来木造』、3分の1を『大断面集成材構造』、残りの3分の1を『鉄筋コンクリート造』とし、地場産杉材の活用と安全性に配慮した。

構造材は出来る限り表しとし、木材の温かみや風合いが利用者に伝わる豊かな空間を造ることを目指した。

また使用木材（構造材、大断面集成ラミナ材、化粧羽目板）は分離発注している。

地場産の杉板を外壁、軒天に使用し、内装もフローリングや腰壁の杉板、壁・天井の合板表しなどに木材を使用した。可能な限り地場産の製材を使用することとし、これにより必要な方丈等は現しとすることで意匠的に処理している。

●構造計画について

地震に強い建物にするため、通常の1.25倍（構造計算の重要度係数）の強度で設計している。低中学年が利用する教室棟は平屋とすることで万が一のときに避難しやすく、木造部分が二層にならないように計画している。



《教室》

●防火、耐火上の考慮点

建物中央に位置する管理部門エリアを耐火建築物とし、また、鉄筋コンクリート造の防火壁を組み合わせた防火区画により、一部在来木造を採用している。



《体育館》



《外観写真》

■事業概要

設計者：ブレんスタッフ 株式会社
 施工者：（建築）マルゴ・山口・本間特定建設工事 共同企業体
 （電気）電機鉄工・坂尾特定建設工事 共同企業体
 （機械）山空・山東特定建設工事 共同企業体
 工期：平成20年1月～平成21年3月

設計費： 52,500 千円
 建設費：（建築） 831,390 千円
 （電気） 146,177 千円
 （機械） 112,219 千円
 （木材分離発注） 55,230 千円
 （合計） 1,145,015 千円
 1 m²あたりの建設費： 232 千円